

《履修上の留意事項》《面接授業のみ実施》

《担当者名》○教授／斎藤 隆史 教授／伊藤 修一 講師／泉川 昌宣 講師／松田 康裕
 助教／永井 康彦 助教／油井 知雄 助手／猪熊 孝憲 助手／諏訪 涼子
 非常勤講師／池田 浩之 非常勤講師／石井 真生 非常勤講師／久保田 瑞尚
 非常勤講師／中嶋 智仁 非常勤講師／今北 将人 非常勤講師／甕 富美子
 非常勤講師／小池 俊之 非常勤講師／松尾寿美恵 非常勤講師／松田哲郎
 非常勤講師／中脇 禎輝 非常勤講師／有路博彦 非常勤講師／川守田 暢

【概 要】

講義において理解した理論をマルチメディア機器を活用した双方向教育による実習により、咬合器、顎模型といった教材を用いて具現実施し、再確認することにより理解を深め、かつ、その科学的根拠による診療技術の基本を習得するために行う。なお、この基礎実習は、病院において実際患者と接して行う臨床実習の基礎を成す重要な過程である。

【学習目標】

マネキン、顎模型を用いて、臨床における診療の姿勢及び器具の操作を習得する。
 講義の理解とともに、歯の切削法、窩洞形成法及びう蝕検知液を併用したう蝕の除去法を習得する。
 保存修復分野の診療における一連の基本的診療術式を実施する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス、器具・器材配付、貸与及び点検	● 実習の目的、意識と進め方を説明し、器具・器材の配付、貸与を行い、器具・器材の点検とその名称、用途、用法について把握する。	斎藤 隆史 伊藤 修一 泉川 昌宣 松田 康裕 永井 康彦 油井 知雄 猪熊 孝憲 諏訪 涼子 非常勤講師
2	基本 級基本窩洞形成	● 実際の口腔内を模したマネキンを用いて、基本級窩洞形成法を習得する。 E-3 - 3)-(1)-	斎藤 隆史 伊藤 修一 泉川 昌宣 松田 康裕 永井 康彦 油井 知雄 猪熊 孝憲 諏訪 涼子 非常勤講師
3	基本 級基本窩洞形成	● 基本 級窩洞形成を行い、レーザー窩洞計測装置を用いて窩洞評価を行う。	斎藤 隆史 伊藤 修一 泉川 昌宣 松田 康裕 永井 康彦 油井 知雄 猪熊 孝憲 諏訪 涼子 非常勤講師
4	う蝕病巣の除去法	● 軟化象牙質付人工歯にう蝕検知液を応用して、う蝕病巣の除去法を習得する。 E-3 - 3)-(1)-	斎藤 隆史 伊藤 修一 泉川 昌宣 松田 康裕 永井 康彦 油井 知雄 猪熊 孝憲

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
			諏訪 涼子 非常勤講師

【評価方法】

定期試験（100％）

【備 考】

教科書：「保存修復学臨床基礎実習の手引き」う蝕制御治療学分野

参考書：「保存修復学」千田 彰、寺中 敏夫、寺下 正道、宮崎 真至 編集 医歯薬出版
「保存修復学21」田上 順次、千田 彰、奈良 陽一郎、桃井 保子 編集 永末書店
「保存修復クリニカルガイド」千田 彰、寺下 正道、田上 順次、奈良 陽一郎、宮崎 真至、片山 直 編集 医歯薬出版

【学習の準備】

実習書の該当ページを事前に読んでおくこと。（30分）

毎回実習の最初に、前回及び当日の実習内容に係る小テストを実施するので必ず予習・復習をする。（30分）

診療室での行為を想定した実習であるので身だしなみを整えておく。

【ディプロマ・ポリシーと該当授業科目との関連】

DP1. 人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を修得するために、保存修復学を学修する（専門的実践能力）。

DP3. 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を身につけている（自己研鑽力）。

【実務経験】

担当者全員が歯科医師

【実務経験を活かした教育内容】

開業医、勤務医として実務に携わる臨床経験10年以上歯科医師が非常勤講師として保存修復学分野における患者対応・注意事項について教育を行っている。